

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月22日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【1号機原子炉注水設備の照明用発電機 No. 2起動不可について】 1号機定例試験にて原子炉注水設備の照明用発電機 No. 2を起動しようとしたが、起動できないことを確認。起動はできないが、操作スイッチ「ON」時にランプ等は点灯することから、バッテリーの劣化が想定されるため、バッテリーの取替を行う。	GⅢ	8月16日
2	【1～4号機滞留水水位計の除外時における水位計出力信号について】 現在、1～4号機の滞留水の水位はマイナス値だが、水位計を除外すると監視装置において水位信号が「0」となることを確認。 今後、このような設計にした理由の確認、および、対策を検討予定。	GⅢ	8月19日
3	【3号機使用済燃料プルー次系ポンプ(B)のカップリング部からの異音、振動について】 3号機使用済燃料プルー次系ポンプ(B)のカップリング部からの異音、振動を確認。 また、ポンプ停止後の外観目視でカップリングボルト用ブッシュの摩耗を確認。 今後、異音・振動の原因調査を行う。	GⅢ	8月17日